別紙様式１

令和７年度　指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立東部防災館	施設所在地	徳島県徳島市東沖洲１丁目８
指定管理者名	ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国共同事業体	指定期間	令和５年４月１日～令和１５年３月３１日
施設所管課	防災対策推進課	【連絡先】	088-621-2298

１　施設の概要

設置年月日	令和5年4月1日
設置目的	広域的な物資の輸送拠点としての活用を図り、もって本県の災害時の円滑な防災活動に資するとともに、県民の健康の保持及び増進その他の県民の福祉の向上に寄与するために設置。 （徳島県立東部防災館の設置及び管理に関する条例　第一条）
施設内容	対象の施設は、徳島県立東部防災館の管理運営に関する基本協定書第6条に基づく次に掲げる施設及び備品。 地上3階・地下1階　SRC造 建築面積：4,973.67㎡、延床面積：9,065.77㎡ 駐車場ほか敷地面積：7,988.42㎡ 物品：備品
利用料金等	別紙参照
開館日・休館日等	開館時間：午前9時～午後10時 休館日　：毎月第4水曜、年末年始（12/29～1/3）

２　指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	徳島県立東部防災館の設置及び管理に関する条例第2条、第4条に基づく次に掲げる業務。 ・災害時において必要となる物資の集積及び配送を行うこと。 ・防災に関する意識の啓発及び知識の普及を行うこと。 ・メインコートその他の施設を利用に供すること。 ・子育て支援に関すること。 ・その他東部防災館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。 ・東部防災館の施設等の維持管理(知事が指定する補修等を除く。)に関する業務。 ・利用の許可に関する業務。 ・利用料金に関する業務。 ・その他東部防災館の管理に関し知事が必要と認める業務。

３　施設の管理体制

管理体制	正職員　11　名　　臨時職員　9　名　　計　20　名　（令和8年3月31日現在） ジオグラフィックデザイン・シンコースポーツ四国の共同事業体 株式会社ジオグラフィックデザイン(総合・体験プログラム業務)] ・館長（総括責任者）　1名 ・運営スタッフ(正職員)6名、事務スタッフ(臨時職員)2名 シンコースポーツ四国株式会社(スポーツ・レクリエーション業務) ・副館長1名 ・運営スタッフ(正職員)3名、運営スタッフ(臨時職員)7名

４　施設の利用状況

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
利用者数（人）	R7年度	11,993	12,155	15,242	15,816	20,597	14,909	13,018	12,119	12,347	12,310	14,830	16,523	171,859
	前年度	7,255	7,973	7,226	9,693	11,796	10,086	8,976	10,139	8,995	8,256	12,732	14,821	117,948
	前々年度	－	－	－	－	－	4,501	7,770	8,038	8,564	6,979	8,291	10,360	54,503

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
月別利用料金収入（千円）	R7年度	1,279	1,326	1,650	1,866	2,147	1,785	1,816	1,683	1,804	1,417	1,773	1,980	20,525
	前年度	1,200	1,304	1,085	1,381	1,552	1,518	1,337	1,276	1,185	1,268	1,454	1,816	16,375
	前々年度	－	－	－	－	－	340	1,340	917	1,126	951	1,249	1,413	7,336

		計
施設毎利用料金収入（千円）	R7年度	20,525
	前年度	16,375
	前々年度	7,336

５　収支の状況

（単位：千円）

項　目			令和７年度	令和６年度（前年度）	令和５年度（前々年度）
収入	指定管理料		136,843	134,581	116,950
	利用料金収入		36,553	13,948	5,353
	事業収入		27,380	3	9,500
	その他		165	264	841
	計		200,941	148,797	132,644
支出	固定費	人件費（常勤職員）	54,578	46,267	49,783
		人件費（臨時・アルバイト等）	35,292	15,985	648
		光熱水費	18,528	19,113	9,284
	改修費		833	637	4,803
	運営費		42,766	31,538	27,297
	維持管理費	施設・設備の保守点検	11,422	10,692	9,287
		清掃業務	13,288	12,625	7,034
		施設警備業務	284	284	237
		植栽・外構維持管理業務	663	567	496
		駐車場保守管理業務	0	0	0
		備品管理業務	237	123	65
		修繕・更新業務	4,017	3,581	1,231
	その他		0	0	0
	計		181,907	141,412	110,166
収支			19,034	7,384	22,478

※項目は、事業報告書等に合わせて、適宜、変更すること。

※計画額や予算額との乖離が大きいもの、費目の内訳が分かりにくいもの等、詳細な説明が必要な場合には、別途、説明の追加や参考資料の添付など確認可能な形とすること。

６　コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	○人材管理 ・各スタッフが複数の業務を柔軟に担う「マルチジョブシステム」を採用することで、日常業務やイベント運営、簡易的な修繕業務における外部委託を必要最小限に抑え、コスト削減に努めている。 ・行政施設運営の経験を有する人材を管理職として採用することで、公平性および安全性を重視した施設運営を行い、業務効率の向上に努めている。 ○業務管理 ・委託業務の内容や契約条件を適宜見直すことで、コスト削減を図っている。 ・清掃ロボットを導入し、清掃業務に係る人件費の削減に努めている。 ・設備および備品の管理方法を見直し、施設のライフサイクルコストの縮減に努めている。 ○環境整備 ・不要な照明の消灯を徹底することで、光熱費の削減および環境負荷の低減に努めている。 ・空調設備については集中管理を行い、利用者に対して環境に配慮した適切な室内環境を提供するとともに、光熱費の削減に努めている。
サービス向上の取組	○予約システムの改善 ・利用者の利便性向上を目的として、予約システムの見直しを随時行っている。 ・メインコートにおける「分割予約機能」の改善を実施した。 ○利用規約の緩和 ・多様な利用シーンに対応するため、利用範囲の拡大に努めている。 ・具体的には、障がい者スポーツの練習や大会利用、ドローン撮影、跳び箱検定、ヒーローショー、マルシェ、展示会など、従来の用途にとらわれない活用を実現している。 ○共催・協力事業の実施 ・地域内の多様な専門人材および団体と協働することにより、利用者に対して価値ある体験や学びの機会を提供している。 ○定期イベントの開催 ・定期イベントを継続的に開催することで施設認知の拡大を図り、コアユーザーの創出に努めている。 ○広報戦略の見直し ・施設認知の拡大を目的として、多様な広報手法の試行を行っている。

７　自主事業の取組状況

自主事業取組状況	○飲食（カフェ） ・「はれいろキッチン」を誘致することで、施設利用者の満足度向上に寄与している。 ・こども食堂を実施することで、地域の子どもたちや保護者が集い、温かい食事を囲みながら安心して過ごせる居場所として機能している。 ・「みらいチケット」の仕組みを導入することで、地域における支え合いの仕組みづくりを推進している。 ○物販 ・スポーツ関連物品の販売を実施することで、利用者が手ぶらでも気軽にスポーツに取り組める環境整備に努めている。 ・ドリンクやアイス、軽食等の販売も行うことで、利用満足度の向上に寄与している。 ・イベント時には物販を通じて利用者との交流を図り、施設利用に関する意見や要望を把握するヒアリング機会の創出にもつなげている。 ○飲料自動販売機管理事業 ・徳島ならではの飲料を取り扱う自動販売機や、スポーツドリンクを備えた自動販売機を設置している。 ・自動綿あめ機を設置し、特に利用率の高い子ども世代の満足度向上に寄与している。

８　管理運営業務に係る点検・評価

項　　目	評　価	点　検　結　果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・ホームページ上にお問い合わせフォームを設置し、利用者の声を収集している。 ・利用者アンケートを定期的に実施し、ニーズや課題の把握に努めている。 ・コンテンツパートナーとの定期会議を通じて、利用者意見や施設課題の共有を行っている。 ・利用者ニーズを踏まえ、幼児向け備品や設備の追加・改善を実施している。 ・施設案内動画を作成し、利用者の利便性向上に努めている。 ・利用実態に応じて施設運用ルールや予約システムの改善を行っている。 ・共催協力事業を通じて、多様な利用機会の創出を図っている。 ・キッズパーク見守りエリアの新設や監視カメラの追加等、安全対策の強化を実施している。 ・第三駐車場の区画再編を行い、利用環境の改善に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・「はれいろキッチン」の誘致やこども食堂の実施を通じて、利用者満足度の向上および地域の居場所づくりを推進している。 ・「みらいチケット」の取組により、地域における支え合いの仕組みづくりを進めている。 ・スポーツ関連物品や飲食物の販売、自動販売機の設置等により、利用者の利便性および満足度向上に努めている。 ・イベント時には利用者との交流を図り、意見・要望の把握につなげている。 ・自動綿あめ機を設置し、子ども世代の満足度向上に寄与している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・定期的に職員が施設内の巡回を行い、異常や故障を早期に発見し、適切に対応している。また、専門的な技術・知識が必要な業務については維持管理業務を委託している四電ビジネスに協力を仰ぎながら、年間作業計画に基づき管理している。 ・チェック表を用いて県備品を適切に管理している。 ・植栽整備は、公益社団法人徳島市シルバー人材センターにメンテンナンスを依頼し、外構の樹種を適切に維持管理している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・コスト削減の取組を推進した結果、計画時と比較して支出の大幅な軽減を実現している。 ・利用者数の増加に伴い、収入についても増加している。 ・外部委託については、専門的知識・技能を要する業務に限定することで、外注費の抑制に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・広域物資輸送拠点転換訓練を実施し、災害時対応に関する検討と体制強化を行っている。 ・日常業務については随時モニタリングを実施し、毎月県へ月次報告を行っている。 ・指定管理者JVと複数のコンテンツパートナーが連携し、効果的な運営体制を構築している。 ・職員体制に応じた適切な人員配置に努めている。 ・利用規約については実態に即した内容へ改訂し、ホームページ上で公表している。 ・利用料金の徴収管理およびインボイス制度への対応を適切に行っている。 ・指定管理者本部による定期巡回を実施し、労働環境や資金管理の点検を行うとともに、覆面調査による利用者目線でのサービス品質確認を実施している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・職員の労働条件については、事業計画書に記載した内容を適切に確保し、適正な業務運営を行っている。

項　　目	評　価	点　検　結　果
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・地元雇用の拡大に努めるとともに、地域の大学等へアルバイト募集を行い、地域に根差した人員体制を構築している。 ・地元企業やNPO法人へコンテンツパートナーとして業務委託を行うとともに、地域で活躍する人材を講師に招き、講座やイベントを実施している。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・マリンピア沖洲産業団地協議会と合同で津波避難訓練を実施し、地域防災力の向上に努めている。 ・自衛隊、消防防災航空隊、海上保安庁による訓練を積極的に受け入れ、関係機関との連携強化を図っている。 ・地元小学校の防災学習や中学校の職業体験について積極的に受け入れを行い、地域との連携に努めている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・普通救命講習の受講を通じて、迅速な応急対応が行える体制を整えている。 ・維持管理業務委託先である四電ビジネスと連携し、消防計画に基づく避難誘導、通報、消火訓練を実施している。 ・巡回時の確認項目や備品使用マニュアルを整備し、管理体制の強化に努めている。 ・CPR及びAEDに関する研修を日常的に実施し、職員の対応力向上を図っている。 ・施設ホームページについては、定期的な更新やバックアップを実施し、適切に管理している。 ・PCのパスワード管理、ソフトウェア更新、ウイルス対策を適切に実施し、情報セキュリティ対策を行っている。 ・紙媒体の個人情報については、鍵付きキャビネットにて適切に管理している。 ・情報セキュリティに関する研修を受講するとともに、社内の個人情報保護マニュアルの更新を行っている。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・節電、節水、適切な温度管理および設備運転の調整を実施し、効率的なエネルギー使用と省エネルギー化に努めている。 ・消耗品の使用を可能な限り抑制し、環境負荷の低減に配慮している。 ・モニタリングや定例会議を通じて環境対策の状況を共有し、必要に応じた対応の検討・実施を行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令および委託仕様を遵守し、適切な施設運営を行っている。 ・月次報告を含む関連書類を適切に整備するとともに、情報公開請求に対応できる体制を整えている。
総合評価	A	・協定書、事業計画書に基づき、適切に管理運営業務が行われている。

〈評価指標〉　Ｓ：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
Ａ：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
Ｂ：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
Ｃ：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※　項目については、事業計画書と整合性をはかる。

９　その他（今後の課題及び対応等）

・施設の維持管理については、改修工事を行っているが老朽化に伴う突発的な修繕箇所が発生することが考えられる。早期発見や適切な対応を行い、計画的な維持管理に努め、施設・設備の長寿命化に努める必要がある。
・今後も利用者アンケートを実施しながら、ニーズの把握、柔軟な対応を行い利便性向上に努め、利用者層にマッチしたコンテンツの提供を目指し、様々な世代が安心して利用できる施設づくりを目指していく。
・利用者数は、目標を上回る実績で推移できている。更なる利用促進を図るべく、効果的な広報活動や県との連携を図る。
・設置目的の一つである「災害時の円滑な防災活動」に資するため、これまで以上に防災啓発事業に取り組んでいく。